

会 議 録 (要旨)

会議名	第4回文化財保護審議会
開催日時	平成22年2月20日(土) 14時00分～16時00分
開催場所	武蔵村山市立歴史民俗資料館会議室
出席者及び 欠席者	出席者:蓮沼会長、内野副会長、内野昭委員、國委員、城崎委員、瀬川委員、田代委員 寺町委員、成迫委員、村山委員(事務局、課長・主査・主任3名) 欠席者:無し
議 題 (報告事項)	<議題> 1 市内文化財総合調査の具体案について 2 その他 <報告事項> 1 第22回多摩郷土誌フェアの結果につて 2 峰「幟」の保存について 3 平成21年度歴史民俗資料館事業等(12月～2月)の報告について
結 論 (決定した方針、処理、残された問題点や保留事項などを記載)	議題について 市内文化財総合調査の具体案につて、以下の事を了承した。 1 平成22・23年度の2年間で一つの結論を導き出すこと。 2 調査研究・建議は、平成22年度で委嘱される委員によって実施する。 3 部会は有形・無形文化財部会、有形・無形民俗文化財、史跡・名勝・天然記念物部会の三部会とする。 報告事項2つについて 簀・旗については寄贈を受けるべきではあるが、土台木・ハサミについては保存が不可能なことから自治会での処分をお願いすべきである。
主な意見 (原則として発言順に記載し同じ内容は一つにまとめる。反対意見については、どの意見に反対なのか明確に記載する。)	議題について ・史跡に荒田家墓地、高岡墓地等を加え、検討する必要がある。 ・部会内の人員配置は、対象文化財によって考慮する必要がある。 ・時代ごとで部会を構成することも一つの考えである。 ・時代ごとでは「ばらつき」が生じる恐れがあり、この三部会が妥当ではないか。 報告事項2つについて ・竿が無く復元が不可能である以上、簀・旗のみの寄贈とせざるを得ない。 ・自治会で処理するとき、土台木を輪切りにして一部を保存する方法もある。
会議の公開・ 非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開した 傍聴者 : 0 人 <input type="checkbox"/> 非公開とした (非公開とした範囲 : 全部 ・ 一部) 非公開とした理由 []
会議録の公 別開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開(武蔵村山市公文書公開条例第9条第1項第 号に該当) (その他の理由 :)
庶務担当課	教育部生涯学習課歴史民俗資料館G (電話 560-6620)